

納付方法 徹底比較 (国税版)

2024年5月作成

税務署が「納付書の送付」の対象を縮小しています。送付されない場合は税務署等で納付書を入手しなければならず、これを機にキャッシュレス納付をご検討の方も多いようです。納付方法を比較してみました。

	キャッシュレス納付					現金納付		
	ダイレクト納付 (e-Taxの口座振替)	インターネットバンキングに よる納付	振替納税 (口座振替)	クレジットカード納付	スマホアプリ納付	コンビニ納付 (QRコード)	コンビニ納付 (バーコード)	窓口納付
納付方法	e-Taxより、事前に届出た預貯金口座から、納期限当日に自動引落し	インターネットバンキング口座から納付	事前に届出をした預貯金口座から、振替日に自動引落し	専用サイトにアクセスし、クレジットカードで納付	専用サイトにアクセスし、スマホ決済アプリ(Pay払い)で納付	QRコードを作成し、コンビニの端末で納付書を出し、納付を委託	税務署が作成するバーコード付納付書にて、コンビニで納付を委託	所定の納付書により、金融機関や税務署の窓口で納付
メリット	◎ 会社・自宅からでも納付できる ◎ 期限を設定でき、忘れず納付できる ◎ すぐに確認できる	◎ 会社・自宅からでも納付できる ◎ いつでも納付できる ◎ 取引履歴で納付が確認できる	◎ 手続きは初回だけ ◎ その後は自動引落しで、忘れず納付できる	◎ 会社・自宅からでも納付できる ◎ いつでも納付できる ◎ 取引履歴で納付が確認できる	◎ 会社・自宅からでも納付できる ◎ いつでも納付できる ◎ 取引履歴で納付が確認できる	◎ 24時間納付可能 ◎ 最寄りのコンビニで手軽に納付できる	◎ 24時間納付可能 ◎ 最寄りのコンビニで手軽に納付できる	◎ インターネット環境がなくてもよい
デメリット	△ 事前にe-Taxの利用開始手続きが必要 △ インターネット環境が必要	△ インターネットバンキングの契約が必要 △ 事前にe-Taxの利用開始手続きが必要 △ 銀行により手数料がかかる △ 忘れず納付が必要	△ 事前に手続きが必要 △ 転居時等に、変更の手続きが必要 △ 残高不足があると、納付が遅れることも	△ クレジットカードが必要 △ 納付税額に応じて、決済手数料がかかる △ 忘れず納付が必要	△ Payアカウント登録とチャージが必要 △ 高額納付はできない △ 忘れず納付が必要	△ 事前にQRコードの準備が必要 △ カード払いや電子マネーは利用できない △ 高額納付はできない △ 忘れず納付が必要	△ バーコード付納付書の入手が必要 △ カード払いや電子マネーは利用できない △ 高額納付はできない △ 忘れず納付が必要	△ 税務署や金融機関に出向く必要がある △ 窓口の営業時間に限られる △ 所定の納付書が必要 △ 忘れず納付が必要
税目	◎ すべての税目 ※送信データにより利用できない税目あり	◎ すべての税目 ※手続方法により、利用できない税目あり	○ 申告所得税・復興特別所得税 ○ 消費税・地方消費税(個人事業者)	◎ すべての税目 ※印紙を貼って納付する場合等、利用できない税目あり	◎ すべての税目 ※印紙を貼って納付する場合等、利用できない税目あり	◎ すべての税目 ※所得税徴収高計算書で源泉所得税を納付する場合等、利用できない税目あり	◎ すべての税目 ※所得税徴収高計算書で源泉所得税を納付する場合等、利用できない税目あり	◎ すべての税目
利用可能額	○ 金融機関による	○ 金融機関による	◎ 制限なし	△ カード利用可能範囲内で、1,000万円未満	△ 30万円以下 ※Pay払いで設定された上限金額により、制限される場合あり	△ 30万円以下	△ 30万円以下	◎ 制限なし
利用時間	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く ※金融機関のシステム稼働時間のみ	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く ※金融機関のシステム稼働時間のみ	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く ※金融機関のシステム稼働時間のみ	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く	◎ 24時間利用可能 ※コンビニエンスストアの営業時間のみ	◎ 24時間利用可能 ※コンビニエンスストアの営業時間のみ	△ 金融機関は営業時間のみ、税務署は平日8時半～17時
手数料	◎ 不要	○ 不要 ※インターネットバンキングの利用手数料がかかる場合あり	◎ 不要	△ 納付税額に応じて手数料あり	◎ 不要	◎ 不要	◎ 不要	◎ 不要
準備・手続き	△ e-Taxの利用開始手続き等、いくつかの事前手続きが必要	△ e-Taxの利用開始手続き	△ 振替依頼書の提出(e-Taxが書面で)	◎ なし	◎ なし	△ QRコードの作成	◎ バーコード付納付書の入手	◎ 納付書が必要(税務署や金融機関で入手)
おすすめの方	◎ e-Taxで申告する方 ◎ 源泉所得税の毎月納付など、頻繁に納付手続きをされる方 ◎ 日付を指定して納付したい方	◎ インターネットバンキングやモバイルバンキングを利用されている方	◎ 申告所得税や消費税(個人)の確定申告書を、毎年提出する必要のある方	◎ クレジットカードを利用されている方	◎ Pay払いを利用されている方	◎ 休日や深夜等に現金で納税したい方 ◎ コンビニエンスストアをよく利用される方	◎ 税務署からバーコード付納付書が送付された方 ◎ コンビニエンスストアをよく利用される方	◎ スマホも含め、インターネット環境のない方 ◎ 税務署から納付書が事前に送られている方
参考URL	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/index.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/24200042/noufu_denshi.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/24100020.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/etsuzuki/shinsei/nofu-shomei/nofu/credit_nofu/index.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/smartphone_nofu/index.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/conveni_qr_nofu/index.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/24200042/noufu_houhou_conveni.htm	https://www.nta.go.jp/taxes/nozei/nofu/24200042/noufu_houhou.htm

納付方法 徹底比較（地方税版）

2024年5月作成

eL-QR（地方税統一QRコード）により、おおむねすべての地方自治体でキャッシュレス納付ができるようになりました。特に複数の自治体に事業所がある場合に便利になっています。納付方法の種類も増えました。そこで、多くの自治体で実施されている納付方法について、一般的な内容をまとめ、比較しました。

窓口納付以外の方法は、自治体によって対応していない場合がございます。また、対応している税目や、利用可能額等も自治体ごとで異なります。納付にあたっては、必ず納付先の自治体の情報をご確認ください。

	キャッシュレス納付						現金納付	
	ダイレクト納付 (eLTAXの口座振替)	インターネットバンキング による納付	ATMから納付	クレジットカード納付	スマホアプリ納付	振替納税 (口座振替)	コンビニ納付 (バーコード)	窓口納付
納付方法	eLTAXより、事前に届出た 預貯金口座から引落し	インターネットバンキング口座 から納付	Pay-easy(ペイジー)対応の ATMで納付	地方税お支払サイトからク レジットカードで納付	納付書のeL-QRまたはバー コードをスマホ決済アプリで 読み取って納付	事前に届出をした預貯金口座 から、納期限に自動引落し	バーコード(CVS収納用)付 納付書にて、自治体の指定コ ンビで納付	自治体の窓口や自治体の指 定金融機関等の窓口で納付
税目	○ 自治体により異なる							◎ すべての税目
利用可能額	○ 金融機関による			△ クレジットカード会社 による ※カード利用可能範囲に限る	△ アプリによる ※Pay払いで設定された上限金額により、 制限される場合あり	◎ 制限なし	△ 30万円以下	◎ 制限なし
利用時間	◎ 平日と2/1～3/15等は 8:30～24:00 1/15～1/31は終日	◎ 24時間利用可能 ※1/1～1/3を除く ※金融機関や自治体のシステム稼働時間の み	◎ 24時間利用可能 ※1/1～1/3を除く ※ATMや自治体のシステム稼働時間の み	◎ 平日と2/1～3/15等は 8:30～24:00 1/15～1/31は終日	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く	◎ 24時間利用可能 ※メンテナンス時間を除く ※金融機関のシステム稼働時間の み	◎ 24時間利用可能 ※コンビニエンスストアの営業時間の み	△ 金融機関は営業時間、 自治体は窓口開設時間 のみ
利用料 手数料	◎ 不要	○ 不要 ※インターネットバンキングの利用手数料が かかる場合あり	○ 不要 ※ATMの利用手数料がかかる場合あり	△ 納付税額に応じて システム利用料あり	△ アプリ事業者により 決済手数料あり	◎ 不要	◎ 不要	◎ 不要
領収証	△ 発行されない						◎ 発行される (レシートと共に保管)	◎ 発行される
納税証明書	○ 自治体による おおむね1週間(2日～10日程度)			△ 自治体による おおむね2日～1ヶ月程度		○ 自治体による おおむね1週間～10日 程度	○ 自治体による おおむね1週間(即日～10日程度) ◎ 領収証にて納付の確認が可能	
必要なもの	・ eLTAXの利用登録 ・ 口座の事前登録等 ※納付には都度手続きが必要 (継続引き落としの契約ではありません)	・ インターネットバンキング の口座 ・ 金融機関への利用申込	・ ペイジー番号の発行	・ クレジットカード ・ eL-QR付納付書	・ Pay払いアカウント ・ eL-QR(バーコード)付 納付書	・ 振替依頼手続き (初回・変更時のみ)	・ バーコード(CVS収納 用)付納付書	・ 納付書
おすすめ の方	領収証が必要な方 すぐに納税証明が必要な方(領収証にて証明可)							
	会社・自宅から納付したい方			会社・自宅から納付したい方			自動で済ませたい方 都度の処理が面倒な方	
	複数の自治体に納付する方(地方税お支払サイトから一括で電子納付)							
	うち、eLTAXの利用者IDをお持ちでない方							
	eLTAXの利用者IDをお持ちの方							
				(カードやPay払いで)ポイントをためている方 ※上記利用料・手数料にもご注意ください		現金払いしたい方		

[参考] 地方税お支払サイト(<https://www.payment.eltax.lta.go.jp/pbuser?id=top>)、eLTAX(<https://www.eltax.lta.go.jp/>)、その他、各自治体のホームページ